

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	◎	旅行代理店（営業担当）	・旅行の先行予約が順調に入っている。年末年始を中心に1月の予約も前年を大きく上回る水準である。
	○	商店街（代表者）	・2～3か月前よりは良くなると予想するが、新型コロナウイルスの影響で、団体から個人や少人数での利用へと変化しており、以前のような営業状況に回復することは難しい。
	○	商店街（代表者）	・Go To 商店街キャンペーン等の施策が進んでいる。この秋冬に開催予定のイベントで観光客の入込増加も期待でき、人々の新型コロナウイルスに対する抵抗感が弱まったように感じる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・Go Toキャンペーンで、客の消費活動が進んでおり、それに付随して、旅行や食事に行く際の洋服の需要拡大も期待できる。年末に向けて、景気は良くなると予想する。
	○	衣料品専門店（経営者）	・10月は平日の売上が堅調であった。幸い、天候の長期予報によると多少冷えるようなので、来月以降も良い水準で推移すると予想する。
	○	家電量販店（店員）	・寒さが厳しくなればエアコン等の季節商材がけん引して販売量が増加する。
	○	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第ではあるが、年末年始のセールがあるので、少しは販売量の増加が期待できる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・取扱車が増加し、少しずつ回復傾向にあるが、不安は拭えない。
	○	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスのワクチンや薬の開発状況次第ではあるが、感染対策を講じながら共存していく方法が分かりつつある。
	○	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスによって来客数が減少したが、徐々に回復傾向にある。現在は銀行の借入金利が安いと、分譲住宅の購入が多くなるのではないかと予想する。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・ビールの価格が値下がりしたので、2～3か月前のお歳暮の時期までは売上が堅調に推移すると予想する。
	○	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの影響で人の動きが活発になり、飲食業の売上増加が見込める。
	○	タクシー運転手	・タクシー業界は12～1月に繁忙期を迎えるため、客がやや増加すると見込まれる。
	○	通信会社社員	・フェイスシールド等の感染防止措置を行った上で、訪問販売を再開し始めている。
	○	観光遊園地（職員）	・Go Toキャンペーンなどの消費喚起策により景気はやや良くなると考える。
	□	商店街（事務局長）	・全国的には新型コロナウイルスの感染再拡大が兆しを見せ始めている。気温や湿度の低下が感染状況に影響があるのかは定かではないが、Go To商店街キャンペーンが始まるタイミングでもあるため、新しい生活様式を厳守しながら、年末に向けて消費が拡大していくことを期待している。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数の減少に歯止めが掛からず、今後の状況が全く読めない。テレワークの普及で法人需要も大きく減少している。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・Go To Eatキャンペーンの期間中は少し街に人が来るかもしれないが、寄り道や余分な買物はせず帰る傾向にあるため、飲食店以外の景気は良くならない。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・冬に向けて新型コロナウイルスと季節型インフルエンザの同時流行が懸念されるなか、今後どのような状況になるのか予想できず不安である。
	□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が見通せないため、楽観視はできない状況である。
□	百貨店（営業管理担当）	・Go Toキャンペーンの後押しもあり、今後、来客数の増加が予想される。一方で、季節型インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されており、先行きは不透明である。	
□	コンビニ（商品担当）	・Go Toキャンペーン等の消費喚起策だけではなく、更なる給付金の給付や減税措置等のダイレクトな経済対策の実施が必要と感じている。	
□	コンビニ（総務）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況が続く限り来客数は回復せず、売上への影響は変わらない。	

□	衣料品専門店（営業責任者）	・新型コロナウイルスのワクチンや薬が開発されるまでは、人々の外出意欲に影響があるので、まだまだ厳しい状況は続くと考えている。
□	家電量販店（副店長）	・家電については買換え需要があるものの、大きな期待はできない。また、客から冬のボーナスは期待できないという声を多く聞く。
□	乗用車販売店（従業員）	・4月以降の新車販売台数の減少に伴い、下取り中古車の発生が減少しているなかで、現在は中古車市場が回復しているため、中古車の価格相場が上昇している。新車商談時に下取り車の査定価格が上がれば新車の販売増加につながる可能性もあり、景気回復が期待できる。
□	一般レストラン（経営者）	・年末に向けて、密な空間で飲酒を伴う忘年会のような宴会をする機会は減少すると予想する。
□	観光型旅館（経営者）	・様々な消費喚起策の効果で、景気は小康状態を維持することが予想されるが、インバウンド需要が蒸発しているため新型コロナウイルス発生以前の水準には戻らない。
□	都市型ホテル（経営者）	・現在の予約状況を勘案すると、今後も伸び悩むことが予想される。宿泊についてはGo To Travelキャンペーンの影響で増加が見込めるが、これからの忘年会シーズンの予約状況を前年と比較すると非常に悪い。これからも現在の景気状況はさほど変わらないと予想する。
□	通信会社（営業部長）	・景気が良くなる要因や兆しはないが、更に、落ち込む要因もなくなっているという状況である。
□	通信会社（支店長）	・引き続き新型コロナウイルスの影響はあるものの、数か月先の景気動向に大きく影響を与える事象は見当たらないため、現在の状況がしばらく続くと予想する。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続き、客の動向もしばらく現状から変わらないと想定している。
□	美容室（経営者）	・例年12月は繁忙期であるが、今年は予測ができない状況である。
□	設計事務所（所長）	・企業の設備投資については、新たな動きも出てきているが、新型コロナウイルスの状況次第であるため、冬に向けての見通しは非常に不透明である。
▲	百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しつつあり、少し心配である。
▲	スーパー（店長）	・今後、気温の低下とともに新型コロナウイルスが再度感染拡大し、人々の生活に悪い影響を及ぼし消費行動を抑制すると予想する。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、年末年始の人々の動きや消費動向がどうなるのか分からないため、景気が良くなるという判断をすることは難しい。
▲	スーパー（企画担当）	・冬のボーナスの支給が厳しいという報道もあり、人々の消費動向が危惧されるが、同様に忘年会等も自粛傾向にあるため、家庭での消費には余り影響は出ないと予想する。
▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの影響による外出自粛でスーパーに流れていた外食需要が、Go Toキャンペーンで元に戻っていくと考えられる。
▲	コンビニ（店長）	・今後はインターネット経由の電子商取引が主流になっていくと予想する。今後、その傾向がより強くなり、急を要する買物以外は、客が実店舗を利用する機会は減少していくと考える。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないため、今後もまだまだ悪くなると予想する。
▲	その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	・例年盛り上がりを見せるクリスマス等の年末商戦も今年は縮小傾向の見通しであり、景気が良くなるとは思えない。
▲	タクシー運転手	・例年寒い時期になるとお遍路は減るが、Go To Travelキャンペーンの期間が延長されれば、大手旅行業者のプランがお遍路の旅行プランを出す可能性もあり、冬でもさほど減少しないと考えている。
▲	競輪競馬（マネージャー）	・これから冬に入り、新型コロナウイルスと季節型インフルエンザの同時流行が懸念されており、国民の危機意識が再度高まることが予想される。観光地や娯楽施設、飲食店等への来客数の減少や購買意欲の低下が想定されるため、景気が鈍化すると考えている。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が長引くと考える。

	×	商店街（代表者）	・今後の見通しが立たない上、政府の支援策もやがては限界を超えるのではないかと考えている。不況というよりも社会構造の大変革を迎える時代であると認識すべきだと感じる。
	×	コンビニ（店長）	・Go To Travelキャンペーンの地域共通クーポンによる売上増加も余り期待できず、週末の売上と来客数が伸びない状況が続いている。現状では景気回復の見込みは薄いと考えている。
	×	一般レストラン（経営者）	・今年は忘年会や新年会の需要が見込めず、大幅な売上減少が予想される。
企業 動向 関連  (四国)	◎	—	—
	○	化学工業（所長）	・急激な回復は見込めないが、少しずつ良くなると思われる。ただし、新型コロナウイルス発生以前の水準に戻ることは難しく、新しい市場の開拓が必要であると考えている。
	○	通信業（企画・売上管理）	・景気は徐々に回復していく方向にあると考えている。
	○	金融業（副支店長）	・政府の景気対策や国民の新型コロナウイルスへの慣れから、経済活動はある程度の改善が想定される。世論的にも、感染対策より経済対策を優先する方向へ進展していくことが予想される。
	○	広告代理店（経営者）	・Go Toキャンペーン関連の仕事や、比較的影響の少ない建設業の採用キャンペーン等が見込まれており、企業マインドも少し上向き、販売促進広告も若干増加傾向である。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、外食業界の景気は回復しないと推測する。
	□	繊維工業（経営者）	・景気は少しずつ回復しているが、やはりインバウンドが戻ってくるのが、観光地や都市部でのにぎわいに必要である。当地のタオル会社の操業率は、売り先によってばらつきがあるが、9月までが50%程度、10月は60～70%程度である。タオル関連の協力会社は加工仕事のため、資金的な余裕が少なく、この状況が来春まで続くと厳しい状況になると思われる。
	□	木材木製品製造業（営業部長）	・受注量は回復傾向にあるが、予断は許さない状況である。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で、除菌ウェットクリーナーの売上が増加したが、最近では供給過多になり売行きが芳しくない。新型コロナウイルスの影響が落ち着いてくると、更に売上が悪化する可能性がある。またフェイスマスクは、インバウンドの蒸発や外出機会の減少で需要が減っている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、景気が上向き気配がいまだに感じられない。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの感染が日本で微増している。世界的にみると、第2～3波で感染者が急増し、一部の国では行動規制が再度実施されている。
	□	建設業（経営者）	・年末や年度末を控える時期に仕事は繁忙期に入るが、今年は季節型インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念される。当業界でも感染防止策の徹底が図られると思われ、社外活動も制約されることになることから、景況感の好転は期待できない。ただし、業績自体は公共事業予算の安定的な施行で、さほど悪くはならないと予想している。
	□	建設業（経営者）	・受注減少や人手不足は、今後2～3か月では変わらないと考えている。
	□	輸送業（営業）	・Go Toキャンペーン等の景気回復策も実施されているが、新型コロナウイルスの感染拡大防止策としての行動制限の影響は大きく、いまだ物流事業において取扱物量の増加等の具体的な効果を実感できるような要素は見当たらない。年末の繁忙期に向けて更なる経済の回復を願いたいだが、現在のような状況が長引けば、年を越せない取引先企業も出てくるのではないかと危惧している。
	□	輸送業（経理）	・今後の客の動向がまだまだ不透明である。
	□	通信業（総務担当）	・冬季の新型コロナウイルス感染拡大の予測が不透明であるため、3か月先の状況は読み切れない。
□	税理士事務所	・新型コロナウイルスがまん延しているなかでは、現状維持が精一杯だと考えている。	

	▲	農林水産業（職員）	・現在、新型コロナウイルスの感染者数は横ばいから微増傾向にあるが、冬は季節型インフルエンザとの同時流行が心配される。当然人々は外出を抑制すると思われ、業務需要への影響再拡大が懸念される。
	▲	建設業（総務）	・地域周辺の景況感が悪くなっていると感じている。
	×	鉄鋼業（総務部長）	・造船や産業用機械については受注案件が激減している。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響の長期化や、点在する地政学的リスク等により、引き続き景気は極めて厳しい状況にあると考えている。
	×	輸送業（経営者）	・先が見通せず、不安を感じている。
雇用 関連  (四国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業）	・今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によるが、感染防止策が定着し、安心安全な環境が保てれば、年末商戦で経済が動きはじめ、景気も良くなっていくと考える。Go Toキャンペーン終了後の雇用情勢に不安はあるが、今後のデジタル化推進に向けて、新たな雇用の創造を期待している。
	○	学校〔大学〕（就職担当）	・Go To Travelキャンペーンの効果もあり、ビジネスホテルの稼働率はとても良いと聞いた。新型コロナウイルス感染拡大防止策が十分に継続できれば、今後景気は良くなると予想する。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響の収束が見通せない。
	□	求人情報誌（営業）	・業績が悪化しているサービス業を中心とした業種では求人数や採用数は激減しているが、直接的な影響を受けていない業種では増加しており、トータルでは大きく変わらない状況である。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今が景気の底であることを望んでいる。
	□	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所から雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーン等により、人の動きも少しずつ出てきており、状況は改善していると思われるが、日本全体の新型コロナウイルスの感染者数は微増状態となっており、景気はしばらく今の水準で推移すると予想する。
	▲	求人情報誌製作会社（従業員）	・年末になるにつれ、正社員の求人の減少が予想される。
	×	—	—